

I 結果の解説

第1章 地域別価格差

この章では、小売物価統計調査（構造編）（以下「構造編」という。）の地域別価格差調査等から作成した消費者物価地域差指数の結果を用いて、地域間の物価水準の違いを解説する。消費者物価地域差指数とは、各地域の物価水準を全国の物価水準を100とした指数値で示したものである。

構造編の地域別価格差調査は、地域間の価格差を把握するため、小売物価統計調査（動向編）（以下「動向編」という。）を対象とする全国167市町村と重複しない88市において、地域により価格差が見込まれ、かつ、家計消費支出のウエイトが大きい56品目の小売価格を調査している。

この章の構成は以下のとおりである。

第1節では、都道府県間の物価水準の違いを解説する。

第2節では、各地方間の物価水準の違いを解説する。

第3節では、都市間の物価水準の違いを解説する。

1 都道府県別の物価水準

(1) 総合指数

- ◆ 物価水準が最も高いのは東京都，最も低いのは宮崎県
- ◆ 東京都の物価水準は，宮崎県に比べて9.8%高い

平成26年平均消費者物価地域差指数（全国平均=100）の「総合」を都道府県別にみると，東京都が105.3と最も高く，次いで神奈川県（103.6），京都府（101.2），埼玉県（101.1），山形県，兵庫県（共に100.7）などとなっている。

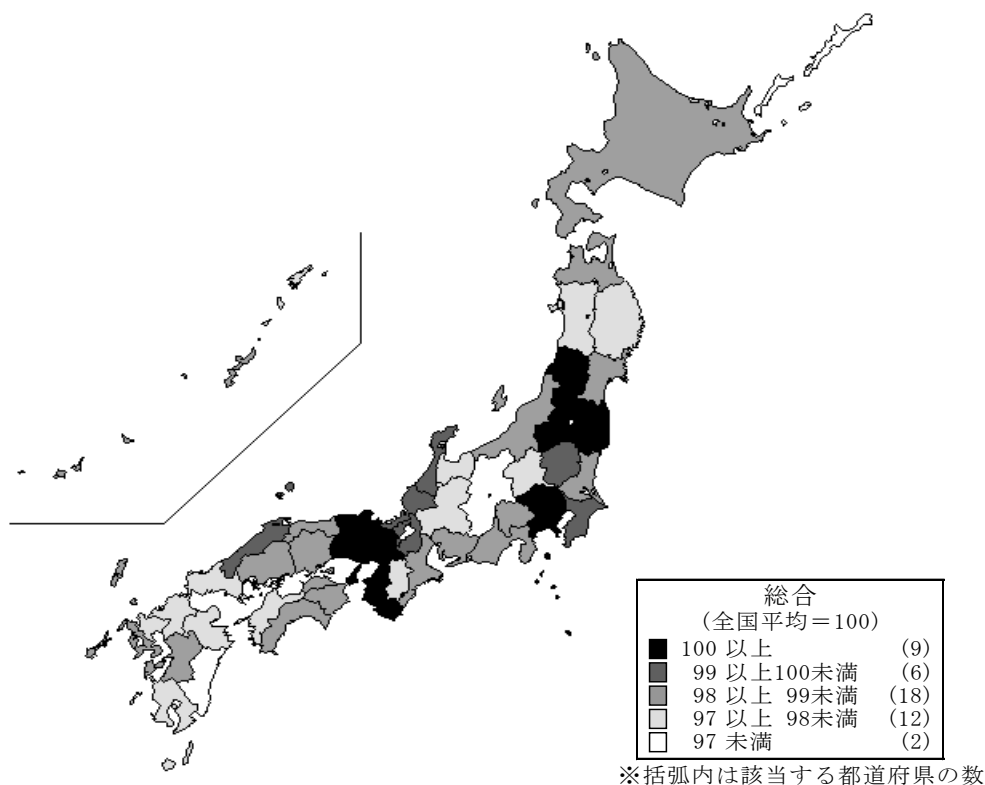
一方，最も低いのは宮崎県（95.9）で，次いで長野県（96.9），岐阜県，佐賀県（共に97.0）と続いている。

最も高い東京都は最も低い宮崎県に比べて，9.8%^(注)高くなっている。

(図1-1，図1-2，表1-1)

(注) $\frac{\text{高い指数}-\text{低い指数}}{\text{低い指数}} \times 100$

図1-1 都道府県別消費者物価地域差指数（総合）（全国平均=100）



※本報告書の注意事項

消費者物価地域差指数における「総合」及び「住居」は「持家の帰属家賃」を含まない。

图 1-2 都道府県別消費者物価地域差指数（総合）（全国平均=100）

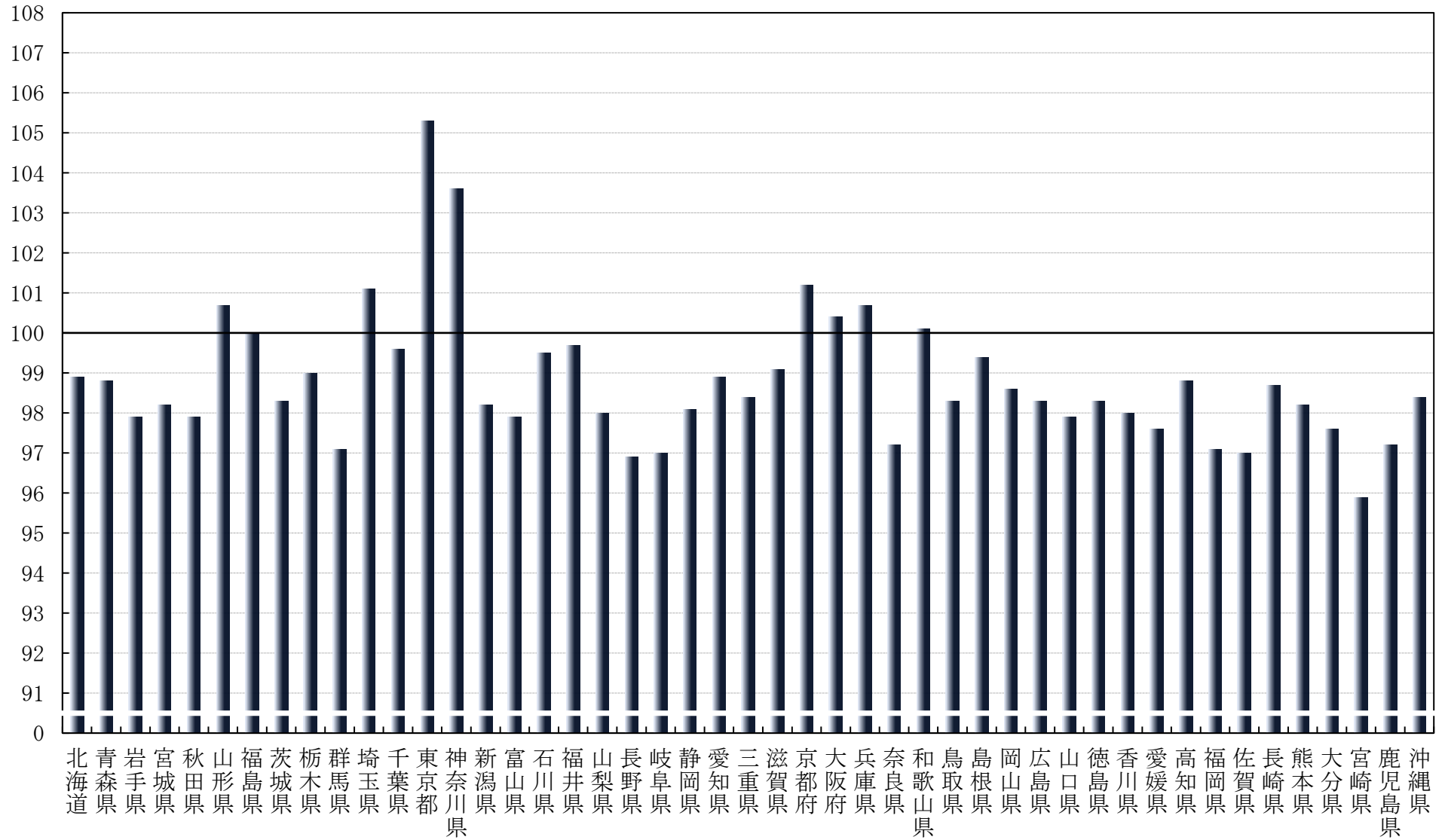


表1-1 10大費目別都道府県別消費者物価地域差指数(全国平均=100)

都道府県	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	(参考) 家賃を除く総合
北海道	98.9	99.1	87.7	108.9	97.9	102.5	98.9	99.6	95.9	96.7	99.9	99.9
青森県	98.8	98.0	100.8	106.8	94.1	97.4	99.2	100.8	92.3	95.7	96.0	99.0
岩手県	97.9	96.8	88.5	110.2	100.3	94.9	100.4	100.9	84.9	96.6	95.9	98.7
宮城県	98.2	97.4	93.9	101.5	97.1	94.7	100.7	98.9	98.1	99.2	99.7	98.4
秋田県	97.9	96.1	94.7	104.8	102.9	96.8	97.7	100.0	85.7	98.1	97.9	98.4
山形県	100.7	101.6	94.1	109.0	94.1	103.5	99.9	99.9	102.5	97.6	100.5	101.2
福島県	100.0	99.6	96.9	108.3	103.5	103.1	100.6	99.5	89.6	97.0	100.9	100.6
茨城県	98.3	98.9	97.3	108.0	90.6	100.5	98.5	98.8	86.4	94.7	101.4	98.6
栃木県	99.0	99.4	90.0	101.9	99.3	111.7	98.6	97.2	101.1	97.1	101.8	99.5
群馬県	97.1	98.9	88.4	93.0	97.6	104.3	104.6	97.9	85.0	95.8	100.0	97.7
埼玉県	101.1	101.1	104.4	95.3	100.6	102.0	101.4	100.0	103.3	103.4	102.1	100.7
千葉県	99.6	99.2	99.9	102.4	99.9	94.6	100.2	99.2	100.1	100.2	100.9	99.3
東京都	105.3	103.7	132.8	97.8	105.2	100.8	100.7	103.9	114.5	104.5	98.9	103.1
神奈川県	103.6	102.3	117.3	100.2	101.2	98.8	99.8	103.2	111.3	104.1	102.4	102.7
新潟県	98.2	98.5	92.0	95.9	99.2	102.4	100.2	98.5	96.1	99.4	99.9	98.6
富山県	97.9	98.6	90.1	98.3	97.7	99.0	97.5	99.5	89.0	97.3	103.3	98.5
石川県	99.5	102.3	89.0	99.6	98.4	96.9	100.6	100.1	99.8	97.9	100.3	100.2
福井県	99.7	102.1	98.9	89.2	109.4	100.2	102.0	100.3	107.8	95.4	100.1	100.1
山梨県	98.0	98.5	99.5	96.6	97.9	101.0	98.2	101.1	85.9	96.2	98.4	98.5
長野県	96.9	94.1	89.8	100.3	94.4	101.0	99.3	99.7	89.8	97.9	103.5	97.6
岐阜県	97.0	97.5	81.4	93.2	93.3	102.2	98.6	99.6	96.0	101.4	99.8	97.9
静岡県	98.1	99.3	94.6	96.4	100.5	97.8	99.4	99.1	79.6	100.8	101.1	98.5
愛知県	98.9	99.3	95.7	96.6	98.8	99.3	100.2	98.8	97.0	100.9	100.0	99.2
三重県	98.4	99.9	94.0	97.6	99.0	98.2	99.5	98.2	92.9	99.0	98.9	99.1
滋賀県	99.1	98.5	88.4	99.9	96.6	108.0	101.0	100.1	109.0	97.6	99.9	100.1
京都府	101.2	100.6	97.6	100.0	103.0	98.2	99.4	101.8	112.2	102.9	100.8	101.4
大阪府	100.4	100.1	100.3	97.5	99.7	99.8	99.6	100.7	109.1	102.4	97.3	100.3
兵庫県	100.7	100.6	100.8	97.5	102.6	103.4	100.0	99.9	98.9	102.1	103.2	100.7
奈良県	97.2	95.1	87.2	101.1	100.7	94.8	98.2	100.2	100.9	98.9	100.0	97.7
和歌山県	100.1	103.3	97.4	99.6	104.2	99.3	101.7	96.6	100.4	97.0	100.7	100.6
鳥取県	98.3	101.6	86.6	101.8	102.6	103.6	100.3	98.3	83.0	94.9	97.6	99.0
島根県	99.4	102.0	89.5	107.8	100.2	104.2	98.5	99.5	82.2	96.2	99.7	100.0
岡山県	98.6	99.6	94.2	103.6	101.3	104.7	100.8	96.3	83.3	98.5	100.6	99.1
広島県	98.3	100.7	90.9	102.5	99.5	95.5	99.5	98.1	95.3	94.9	99.1	98.7
山口県	97.9	99.7	92.2	105.8	99.0	98.7	101.6	98.0	82.7	93.3	99.8	98.6
徳島県	98.3	99.9	85.3	101.1	100.6	104.7	100.1	96.9	97.5	97.2	100.7	99.2
香川県	98.0	97.7	85.2	102.2	96.5	98.8	99.7	101.5	92.6	96.1	103.3	98.9
愛媛県	97.6	98.7	82.8	103.0	102.5	100.3	100.4	97.3	89.7	98.6	98.1	98.6
高知県	98.8	101.7	91.2	99.0	100.1	97.5	101.3	98.9	93.3	96.2	99.3	99.5
福岡県	97.1	95.8	88.4	103.1	99.8	97.3	99.6	98.5	93.9	97.3	99.8	97.8
佐賀県	97.0	97.4	90.6	104.4	95.6	103.5	97.9	99.2	94.8	90.9	96.7	97.7
長崎県	98.7	99.3	90.2	108.6	96.7	104.4	99.1	98.5	93.0	95.2	100.3	99.3
熊本県	98.2	100.1	91.3	99.6	100.0	97.5	100.8	99.7	91.3	95.3	98.1	99.2
大分県	97.6	100.2	87.5	101.0	95.6	101.0	96.0	98.0	103.4	93.7	96.9	98.7
宮崎県	95.9	96.5	84.1	98.1	103.1	94.4	100.3	97.7	96.8	94.6	95.3	97.1
鹿児島県	97.2	99.3	87.6	99.1	95.9	96.8	100.5	98.7	93.3	95.8	95.7	97.7
沖縄県	98.4	102.3	87.9	100.5	102.9	103.9	101.0	97.0	97.3	97.2	92.6	99.9

(2) 10大費目別指数

- ◆ 「住居」は、東京都が岐阜県の1.63倍で、物価水準の差が最大
- ◆ 「交通・通信」は、東京都が岡山県の1.08倍で、物価水準の差が最小

10大費目別に物価水準が最も高い都道府県と最も低い都道府県との比率^(注1)をみると、「住居」が最も高く、最も高い東京都(132.8)は最も低い岐阜県(81.4)の1.63倍となっている。このほか、「教育」(1.44)、「光熱・水道」(1.24)などで比率が高くなっている。

一方、比率が低いのは、「交通・通信」の1.08倍で、次いで「保健医療」(1.09)などとなっている。

比率を平成25年分結果と比較すると、「総合」では1.09から1.10と0.01ポイント拡大している。10大費目別にみると、「光熱・水道」が0.02ポイントの拡大、「家具・家事用品」が0.07ポイントの拡大、「被服及び履物」が0.02ポイントの縮小、「保健医療」が0.03ポイントの拡大、「教育」が0.02ポイントの拡大、「教養娯楽」及び「諸雑費」が0.01ポイントの拡大となっている。

(表1-1, 表1-2)

(注1) 比率 = $\frac{\text{最も高い都道府県の指数}}{\text{最も低い都道府県の指数}}$

表1-2 都道府県別にみた10大費目別指数(全国平均=100)

10大費目	最も高い都道府県		最も低い都道府県		比率	比率 (平成25年分)
	都道府県	指数	都道府県	指数		
総合	東京都	105.3	宮崎県	95.9	1.10	1.09
食料	東京都	103.7	長野県	94.1	1.10	1.10
住居	東京都	132.8	岐阜県	81.4	1.63	1.63
光熱・水道	岩手県	110.2	福井県	89.2	1.24	1.22
家具・家事用品	福井県	109.4	茨城県	90.6	1.21	1.14
被服及び履物	栃木県	111.7	宮崎県	94.4	1.18	1.20
保健医療	群馬県	104.6	大分県	96.0	1.09	1.06
交通・通信	東京都	103.9	岡山県	96.3	1.08	1.08
教育	東京都	114.5	静岡県	79.6	1.44	1.42
教養娯楽	東京都	104.5	佐賀県	90.9	1.15	1.14
諸雑費	長野県	103.5	沖縄県	92.6	1.12	1.11
(参考) 家賃を除く総合	東京都	103.1	宮崎県	97.1	1.06	1.06

物価水準の高い4都府県（東京都，神奈川県，京都府及び埼玉県）について，「総合」が全国平均より高い要因を10大費目別に寄与度^(注2)で見ると，東京都及び神奈川県では「住居」（それぞれ2.32，1.24）が最も大きく，京都府では「教育」（0.46），埼玉県では「教養娯楽」（0.44）が最も大きな要因となっている。

また，物価水準の低い4県（宮崎県，長野県，岐阜県及び佐賀県）について，全国平均より低い要因をみると，宮崎県及び岐阜県では「住居」（それぞれ-1.31，-1.38）が最も大きく，長野県では「食料」（-1.72），佐賀県では「教養娯楽」（-1.12）が最も大きな要因となっている。

（図1-3，図1-4，表1-3）

（注2）寄与度

物価水準全体（「総合」）に対して，各内訳項目がどれだけ影響したかを示したものである。この資料においては，ラスパイレス類似算式の指数の寄与度とパーシェ類似算式の指数の寄与度の平均値を近似的な値として用いている。したがって，各内訳項目の寄与度を足し上げても，「総合」の寄与度（「総合」-100）には必ずしも一致しない。

図1-3 総合に対する10大費目別寄与度
（上位4位及び下位4位の都府県）

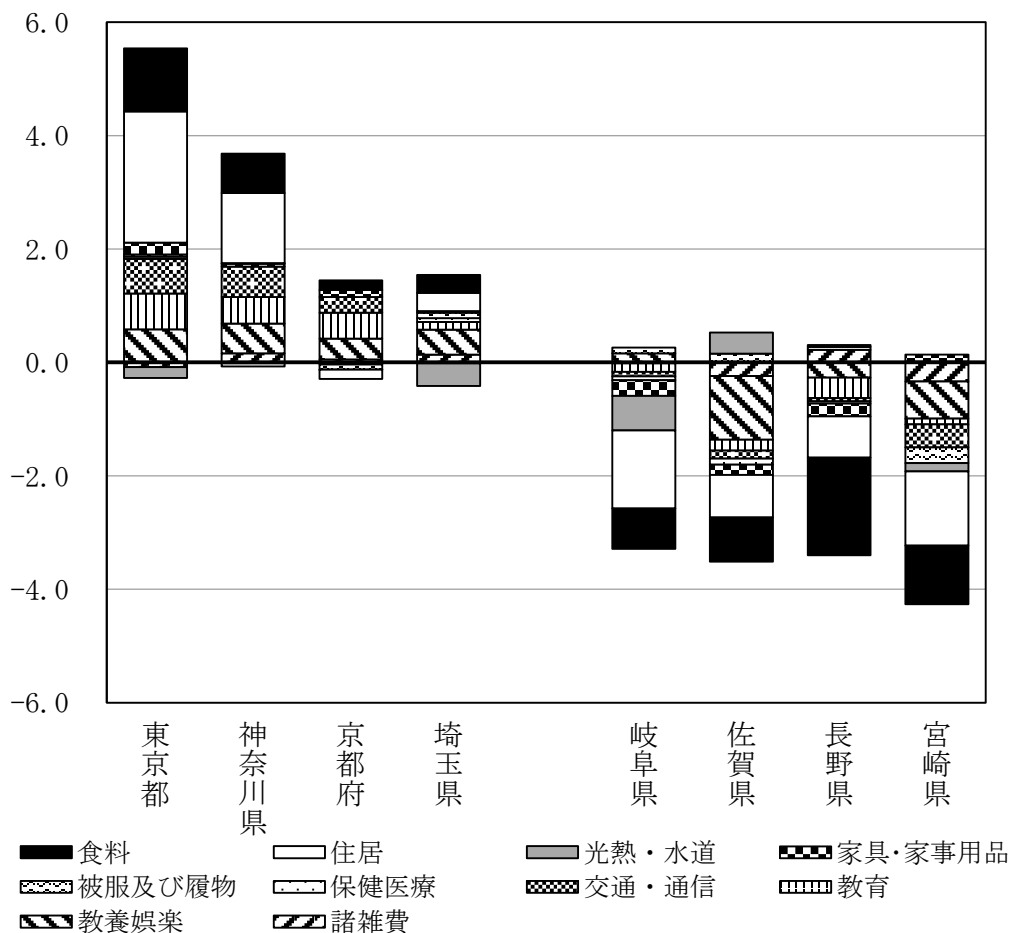


図1-4 総合に対する10大費目別寄与度（47都道府県）

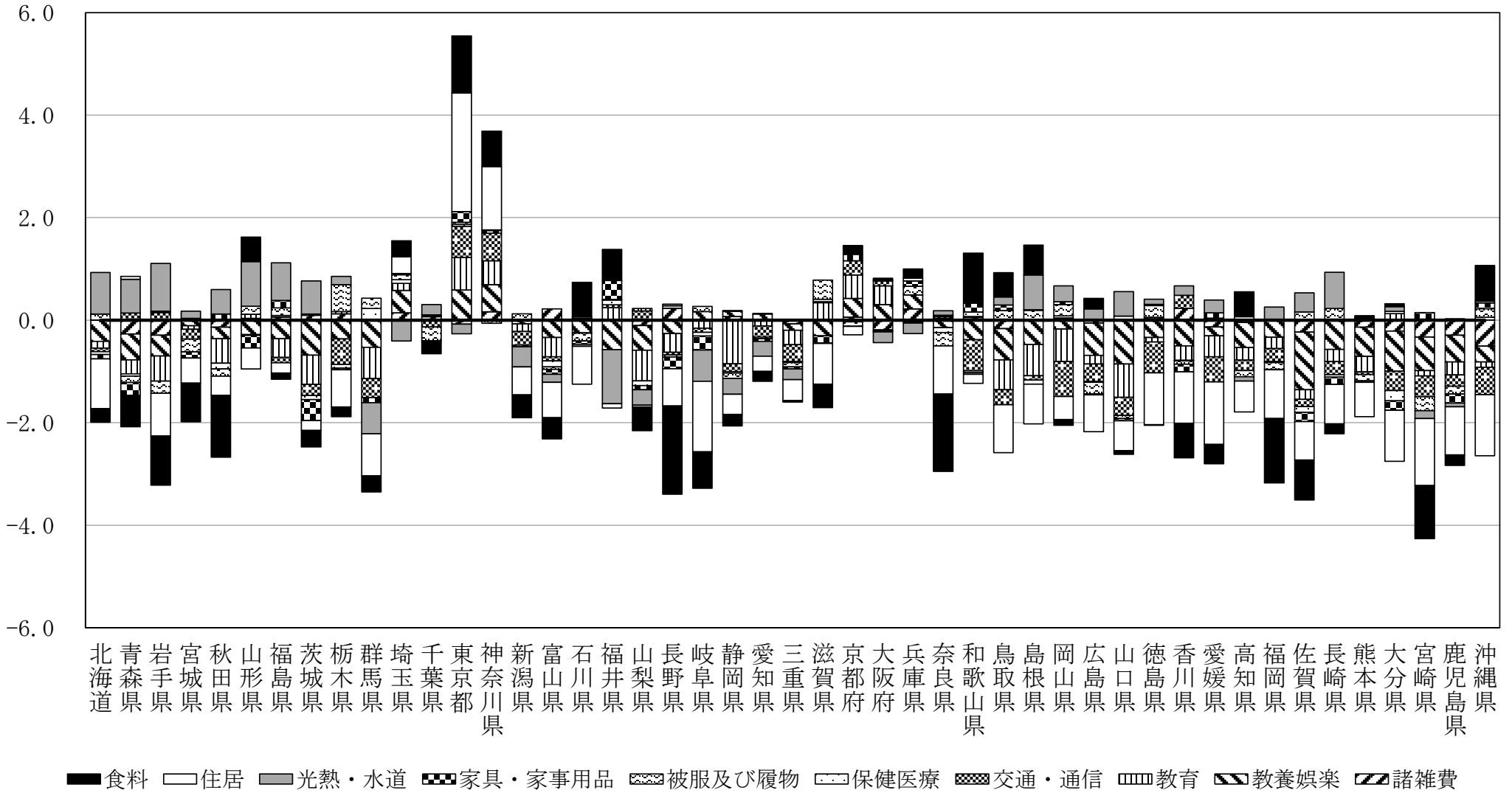


表 1-3 総合に対する 10 大費目別寄与度 (47 都道府県)

都道府県	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
北海道	-0.26	-0.97	0.81	-0.08	0.12	-0.06	-0.07	-0.13	-0.41	0.00
青森県	-0.61	0.06	0.66	-0.25	-0.12	-0.04	0.14	-0.27	-0.50	-0.27
岩手県	-0.96	-0.83	0.93	0.01	-0.24	0.02	0.15	-0.49	-0.41	-0.30
宮城県	-0.75	-0.49	0.14	-0.12	-0.25	0.04	-0.20	-0.07	-0.09	-0.02
秋田県	-1.21	-0.37	0.48	0.12	-0.14	-0.11	0.00	-0.47	-0.23	-0.14
山形県	0.48	-0.41	0.87	-0.25	0.15	0.00	-0.01	0.08	-0.28	0.03
福島県	-0.12	-0.20	0.74	0.15	0.15	0.03	-0.10	-0.37	-0.36	0.06
茨城県	-0.32	-0.19	0.65	-0.41	0.02	-0.08	-0.22	-0.57	-0.68	0.09
栃木県	-0.19	-0.73	0.16	-0.03	0.53	-0.08	-0.50	0.04	-0.37	0.12
群馬県	-0.31	-0.82	-0.60	-0.10	0.20	0.23	-0.37	-0.61	-0.53	0.00
埼玉県	0.31	0.32	-0.40	0.03	0.10	0.07	-0.01	0.14	0.44	0.14
千葉県	-0.24	-0.01	0.20	-0.01	-0.27	0.01	-0.13	0.01	0.02	0.06
東京都	1.11	2.32	-0.19	0.21	0.04	0.04	0.61	0.64	0.59	-0.08
神奈川県	0.69	1.24	0.01	0.05	-0.06	-0.01	0.54	0.47	0.53	0.16
新潟県	-0.45	-0.55	-0.39	-0.03	0.11	0.01	-0.26	-0.15	-0.07	-0.01
富山県	-0.41	-0.69	-0.16	-0.10	-0.05	-0.12	-0.08	-0.38	-0.34	0.22
石川県	0.67	-0.74	-0.04	-0.06	-0.15	0.03	0.01	0.00	-0.25	0.02
福井県	0.61	-0.08	-1.06	0.37	0.01	0.09	0.05	0.24	-0.58	0.00
山梨県	-0.46	-0.04	-0.30	-0.08	0.05	-0.09	0.18	-0.60	-0.48	-0.11
長野県	-1.72	-0.73	0.03	-0.23	0.05	-0.04	-0.05	-0.36	-0.26	0.23
岐阜県	-0.71	-1.38	-0.61	-0.28	0.10	-0.07	-0.08	-0.15	0.17	-0.01
静岡県	-0.22	-0.40	-0.31	0.02	-0.10	-0.03	-0.15	-0.85	0.10	0.07
愛知県	-0.19	-0.29	-0.29	-0.05	-0.03	0.01	-0.22	-0.11	0.12	0.00
三重県	-0.03	-0.41	-0.21	-0.04	-0.09	-0.02	-0.33	-0.28	-0.13	-0.07
滋賀県	-0.46	-0.79	-0.01	-0.14	0.37	0.05	0.02	0.34	-0.30	0.00
京都府	0.17	-0.16	0.00	0.12	-0.09	-0.03	0.28	0.46	0.36	0.06
大阪府	0.03	0.02	-0.21	-0.01	-0.01	-0.02	0.10	0.36	0.30	-0.19
兵庫県	0.18	0.05	-0.20	0.10	0.17	0.00	-0.02	-0.04	0.27	0.22
奈良県	-1.51	-0.94	0.09	0.03	-0.26	-0.10	0.03	0.04	-0.15	0.00
和歌山県	0.98	-0.17	-0.03	0.17	-0.03	0.09	-0.61	0.02	-0.38	0.05
鳥取県	0.47	-0.94	0.16	0.11	0.17	0.02	-0.29	-0.58	-0.61	-0.17
島根県	0.58	-0.77	0.68	0.01	0.19	-0.08	-0.08	-0.61	-0.46	-0.02
岡山県	-0.11	-0.45	0.31	0.06	0.22	0.04	-0.68	-0.63	-0.18	0.04
広島県	0.21	-0.72	0.22	-0.02	-0.22	-0.02	-0.33	-0.17	-0.63	-0.06
山口県	-0.07	-0.58	0.48	-0.04	-0.06	0.08	-0.35	-0.65	-0.84	-0.01
徳島県	-0.01	-1.01	0.10	0.03	0.23	0.01	-0.61	-0.09	-0.34	0.05
香川県	-0.68	-1.00	0.18	-0.15	-0.06	-0.02	0.25	-0.28	-0.51	0.23
愛媛県	-0.38	-1.22	0.25	0.10	0.02	0.02	-0.49	-0.41	-0.17	-0.14
高知県	0.48	-0.60	-0.08	0.00	-0.12	0.06	-0.21	-0.25	-0.49	-0.05
福岡県	-1.25	-0.95	0.25	-0.01	-0.13	-0.02	-0.25	-0.22	-0.33	-0.01
佐賀県	-0.78	-0.75	0.37	-0.18	0.16	-0.11	-0.14	-0.19	-1.12	-0.24
長崎県	-0.19	-0.77	0.71	-0.14	0.21	-0.05	-0.25	-0.24	-0.57	0.02
熊本県	0.05	-0.67	-0.03	0.00	-0.12	0.04	-0.05	-0.30	-0.57	-0.14
大分県	0.06	-1.00	0.09	-0.18	0.05	-0.20	-0.38	0.12	-0.78	-0.22
宮崎県	-1.03	-1.31	-0.15	0.13	-0.27	0.02	-0.41	-0.10	-0.65	-0.33
鹿児島県	-0.20	-0.94	-0.07	-0.17	-0.15	0.02	-0.22	-0.25	-0.52	-0.30
沖縄県	0.70	-1.19	0.04	0.11	0.17	0.05	-0.53	-0.10	-0.31	-0.51

(3) 平成 25 年分結果との比較

◆ 「総合」を平成 25 年分結果と比較すると、物価水準が全国平均 (=100) 以上の都道府県数は、8 都府県から 9 都府県に増加

都道府県別に「総合」を平成 25 年分結果と比較すると、物価水準が全国平均 (=100) 以上となった都道府県数は、8 都府県から 9 都府県に増加した。

25 年分結果において全国平均以上だった 8 都府県に加えて、新たに全国平均以上となったのは福島県で、99.1 から 100.0 となった^(注1)。

(図 1 - 5, 表 1 - 4)

(注 1) 消費者物価地域差指数は、年次ごとに全国平均に対する当該地域の物価水準を相対的に表すものであるため、指数値の変動は、当該地域における物価水準の時系列変化を表しているわけではない。

図 1 - 5 都道府県別消費者物価地域差指数 (総合) (全国平均 = 100)
(平成 25 年, 26 年)

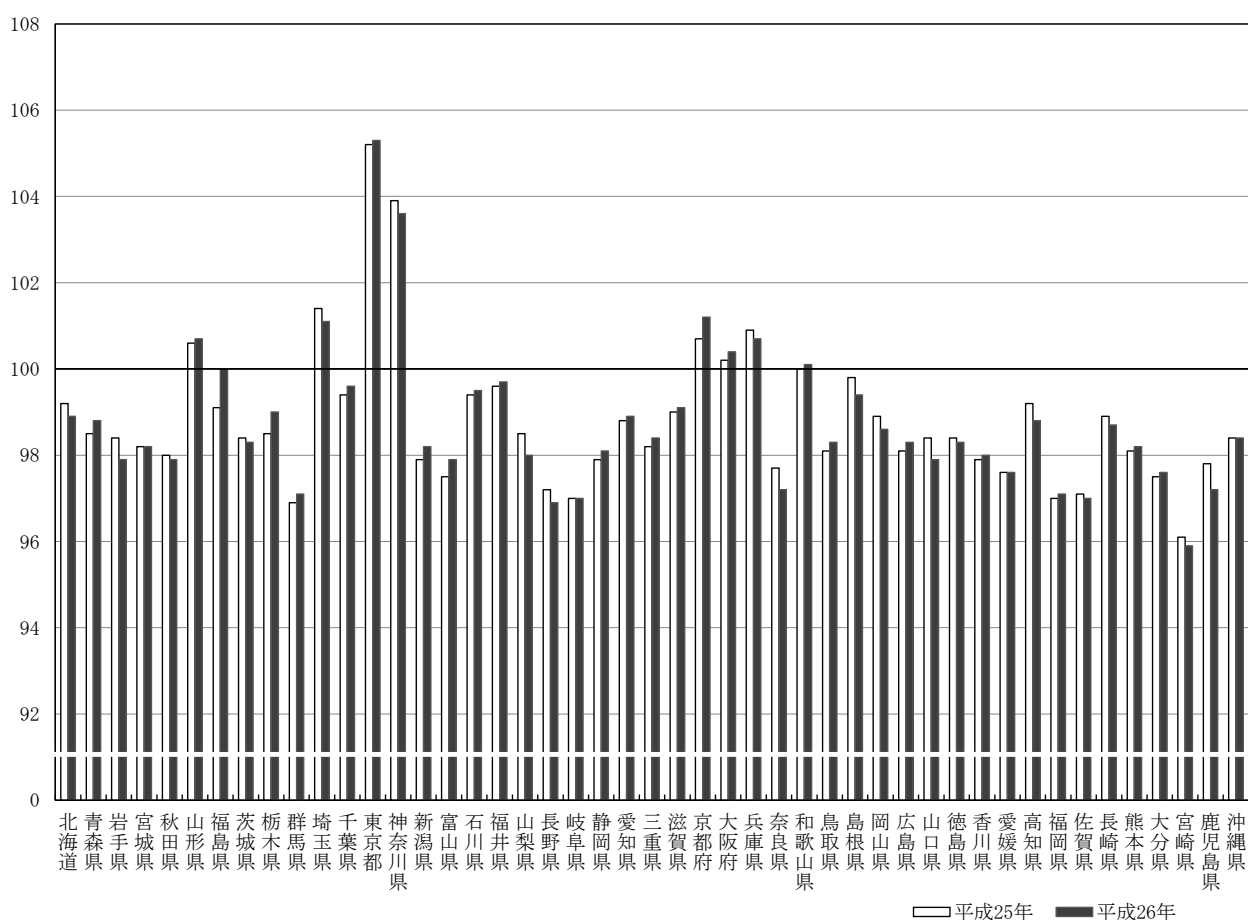


表1-4 平成25年結果と26年結果の比較（総合）（全国平均=100）

都道府県	平成25年		平成26年	
	指数	順位	指数	順位
北海道	99.2	13	98.9	16
青森県	98.5	20	98.8	18
岩手県	98.4	23	97.9	34
宮城県	98.2	28	98.2	28
秋田県	98.0	33	97.9	34
山形県	100.6	6	100.7	5
福島県	99.1	15	100.0	9
茨城県	98.4	23	98.3	24
栃木県	98.5	20	99.0	15
群馬県	96.9	46	97.1	42
埼玉県	101.4	3	101.1	4
千葉県	99.4	11	99.6	11
東京都	105.2	1	105.3	1
神奈川県	103.9	2	103.6	2
新潟県	97.9	34	98.2	28
富山県	97.5	40	97.9	34
石川県	99.4	11	99.5	12
福井県	99.6	10	99.7	10
山梨県	98.5	20	98.0	32
長野県	97.2	42	96.9	46
岐阜県	97.0	44	97.0	44
静岡県	97.9	34	98.1	31
愛知県	98.8	19	98.9	16
三重県	98.2	28	98.4	22
滋賀県	99.0	16	99.1	14
京都府	100.7	5	101.2	3
大阪府	100.2	7	100.4	7
兵庫県	100.9	4	100.7	5
奈良県	97.7	38	97.2	40
和歌山県	100.0	8	100.1	8
鳥取県	98.1	30	98.3	24
島根県	99.8	9	99.4	13
岡山県	98.9	17	98.6	21
広島県	98.1	30	98.3	24
山口県	98.4	23	97.9	34
徳島県	98.4	23	98.3	24
香川県	97.9	34	98.0	32
愛媛県	97.6	39	97.6	38
高知県	99.2	13	98.8	18
福岡県	97.0	44	97.1	42
佐賀県	97.1	43	97.0	44
長崎県	98.9	17	98.7	20
熊本県	98.1	30	98.2	28
大分県	97.5	40	97.6	38
宮崎県	96.1	47	95.9	47
鹿児島県	97.8	37	97.2	40
沖縄県	98.4	23	98.4	22

◆ 前年からの「総合」の変動に最大の影響を与えた費目が「食料」である都道府県数は 21 県と最も多い

前年からの「総合」の変動に最も影響を与えた費目をみるため、平成 25 年分結果の寄与度と 26 年分結果の寄与度の差^(注2)をみると、「食料」の影響が最も大きい都道府県が、岩手県を始めとして 21 県と最も多い。

(表 1-5, 図 1-6)

(注2) 寄与度の差は、「総合」に対する各費目の影響度の変化を表す。

表 1-5 総合の変動に最も影響している 10 大費目別都道府県一覧^(注3)

費目	寄与度差の符号	都道府県
「食料」の影響が最も大きかった都道府県	プラス	山形県, 栃木県, 群馬県, 富山県, 石川県, 和歌山県, 鳥取県, 広島県, 福岡県, 熊本県, 大分県, 沖縄県
	マイナス	岩手県, 埼玉県, 神奈川県, 山梨県, 長野県, 兵庫県, 奈良県, 愛媛県, 鹿児島県
「住居」の影響が最も大きかった都道府県	プラス	青森県, 福島県, 三重県
	マイナス	秋田県, 茨城県
「光熱・水道」の影響が最も大きかった都道府県	プラス	宮城県, 新潟県, 大阪府
	マイナス	島根県, 長崎県
「家具・家事用品」の影響が最も大きかった都道府県	マイナス	福井県
「被服及び履物」の影響が最も大きかった都道府県	プラス	愛知県, 京都府
	マイナス	山口県, 徳島県
「保健医療」の影響が最も大きかった都道府県		該当なし
「交通・通信」の影響が最も大きかった都道府県		該当なし
「教育」の影響が最も大きかった都道府県	プラス	千葉県, 東京都, 岐阜県, 滋賀県
	マイナス	北海道, 岡山県, 高知県
「教養娯楽」の影響が最も大きかった都道府県	プラス	静岡県, 香川県
	マイナス	宮崎県
「諸雑費」の影響が最も大きかった都道府県	マイナス	佐賀県

(注3) 最も影響している費目とは、「総合」が前年より高かった都道府県については、寄与度差がプラスの費目のうち、プラス方向に最大の費目、逆に前年より低かった都道府県については、寄与度差がマイナスの費目のうち、マイナス方向に最大の費目としている。なお、前年と同じ値だった都道府県については、全ての費目のうち、寄与度差の絶対値が最大の費目としている。

2 地方別の物価水準

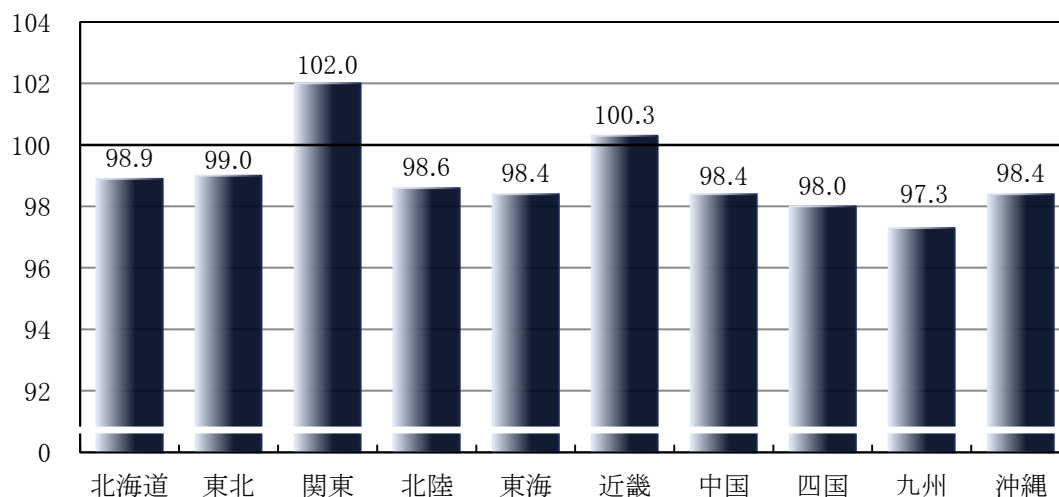
(1) 総合指数

- ◆ 物価水準が最も高いのは関東地方，最も低いのは九州地方
- ◆ 関東地方の物価水準は，九州地方に比べて4.8%高い

地方^(注1)別に「総合」をみると，関東が102.0と最も高く，次いで近畿(100.3)となっている。一方，最も低いのは九州(97.3)，次いで四国(98.0)となっている。物価水準が最も高い関東は，最も低い九州に比べて4.8%^(注2)高くなっている。

(図1-7)

図1-7 地方別消費者物価地域差指数(総合)(全国平均=100)



(注1) 地方10区分

北海道	… 北海道
東北	… 青森県，岩手県，宮城県，秋田県，山形県，福島県
関東	… 茨城県，栃木県，群馬県，埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県，山梨県，長野県
北陸	… 新潟県，富山県，石川県，福井県
東海	… 岐阜県，静岡県，愛知県，三重県
近畿	… 滋賀県，京都府，大阪府，兵庫県，奈良県，和歌山県
中国	… 鳥取県，島根県，岡山県，広島県，山口県
四国	… 徳島県，香川県，愛媛県，高知県
九州	… 福岡県，佐賀県，長崎県，熊本県，大分県，宮崎県，鹿児島県
沖縄	… 沖縄県

(注2) $\frac{\text{高い指数} - \text{低い指数}}{\text{低い指数}} \times 100$

(2) 10大費目別指数

- ◆ 「住居」は、関東が四国の1.32倍で、物価水準の差が最大
- ◆ 「保健医療」は、沖縄が北海道の1.02倍で、物価水準の差が最小

10大費目別に物価水準が最も高い地方と最も低い地方との比率^(注1)をみると、「住居」が最も高く、最も高い関東(112.1)は最も低い四国(85.2)の1.32倍となっている。このほか、「教育」(1.21)、「光熱・水道」(1.13)などで比率が高くなっている。

一方、比率が低いのは、「保健医療」の1.02倍で、次いで「交通・通信」(1.04)などとなっている。

比率を平成25年分結果と比較すると、「総合」では平成25年と26年で共に1.05と変わらなかった。10大費目別にみると、「教育」が0.04ポイント、「食料」、「保健医療」及び「教養娯楽」が0.01ポイントの拡大となっている一方、「住居」が0.02ポイント、「光熱・水道」、「家具・家事用品」及び「被服及び履物」が0.01の縮小となっている。

(図1-8, 表1-6)

(注1) 比率 = $\frac{\text{最も高い地方の指数}}{\text{最も低い地方の指数}}$

図1-8 地方別指数(住居及び保健医療)(全国平均=100)

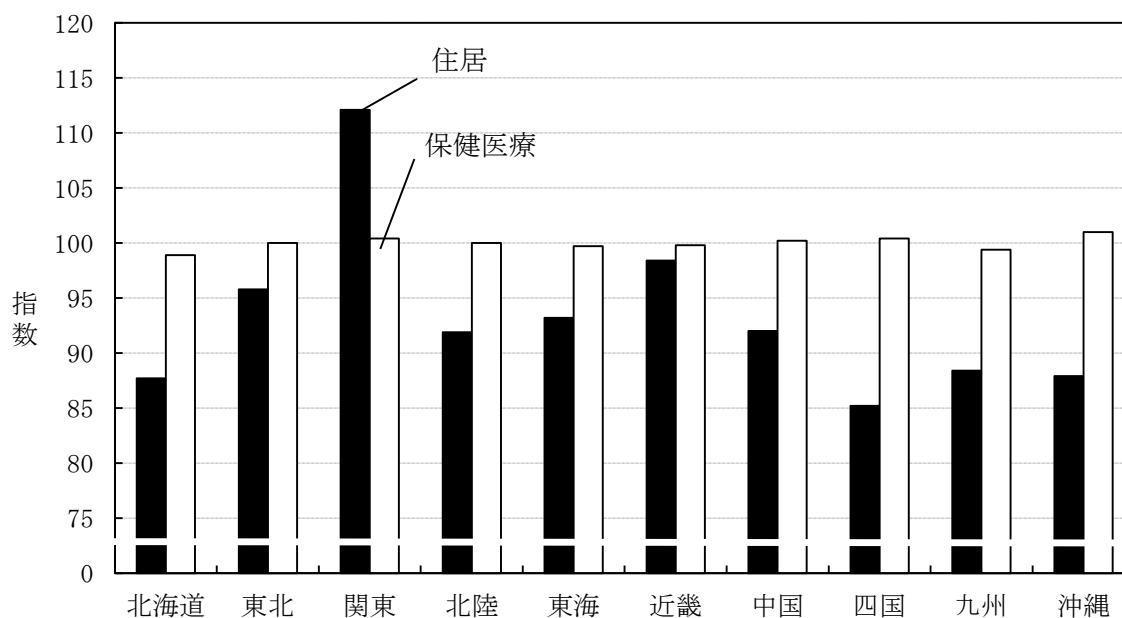


表 1－6 地方別 10 大費目別指数（全国平均＝100）

地方	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	(参考) 家賃を除く総合
北海道	98.9	99.1	87.7	108.9	97.9	102.5	98.9	99.6	95.9	96.7	99.9	99.9
東北	99.0	98.2	95.8	106.2	98.7	98.4	100.0	99.8	92.7	97.5	98.8	99.5
関東	102.0	101.2	112.1	99.2	100.8	100.3	100.4	101.3	105.2	101.9	100.9	101.1
北陸	98.6	99.9	91.9	96.0	100.0	100.2	100.0	99.1	97.1	98.1	100.7	99.1
東海	98.4	99.1	93.2	96.2	98.5	99.2	99.7	98.9	91.8	100.7	100.1	98.9
近畿	100.3	100.0	98.4	98.3	101.0	100.8	99.8	100.3	105.8	101.5	99.8	100.4
中国	98.4	100.4	92.0	103.8	100.2	99.6	100.2	97.8	87.5	95.7	99.5	99.0
四国	98.0	99.3	85.2	101.8	100.2	99.9	100.4	98.6	91.4	97.2	100.1	98.9
九州	97.3	97.8	88.4	102.2	98.5	98.3	99.4	98.7	94.5	95.6	98.2	98.2
沖縄	98.4	102.3	87.9	100.5	102.9	103.9	101.0	97.0	97.3	97.2	92.6	99.9
比率	1.05	1.05	1.32	1.13	1.05	1.06	1.02	1.04	1.21	1.07	1.09	1.03
比率 (平成 25 年分)	1.05	1.04	1.34	1.14	1.06	1.07	1.01	1.04	1.17	1.06	1.09	1.03

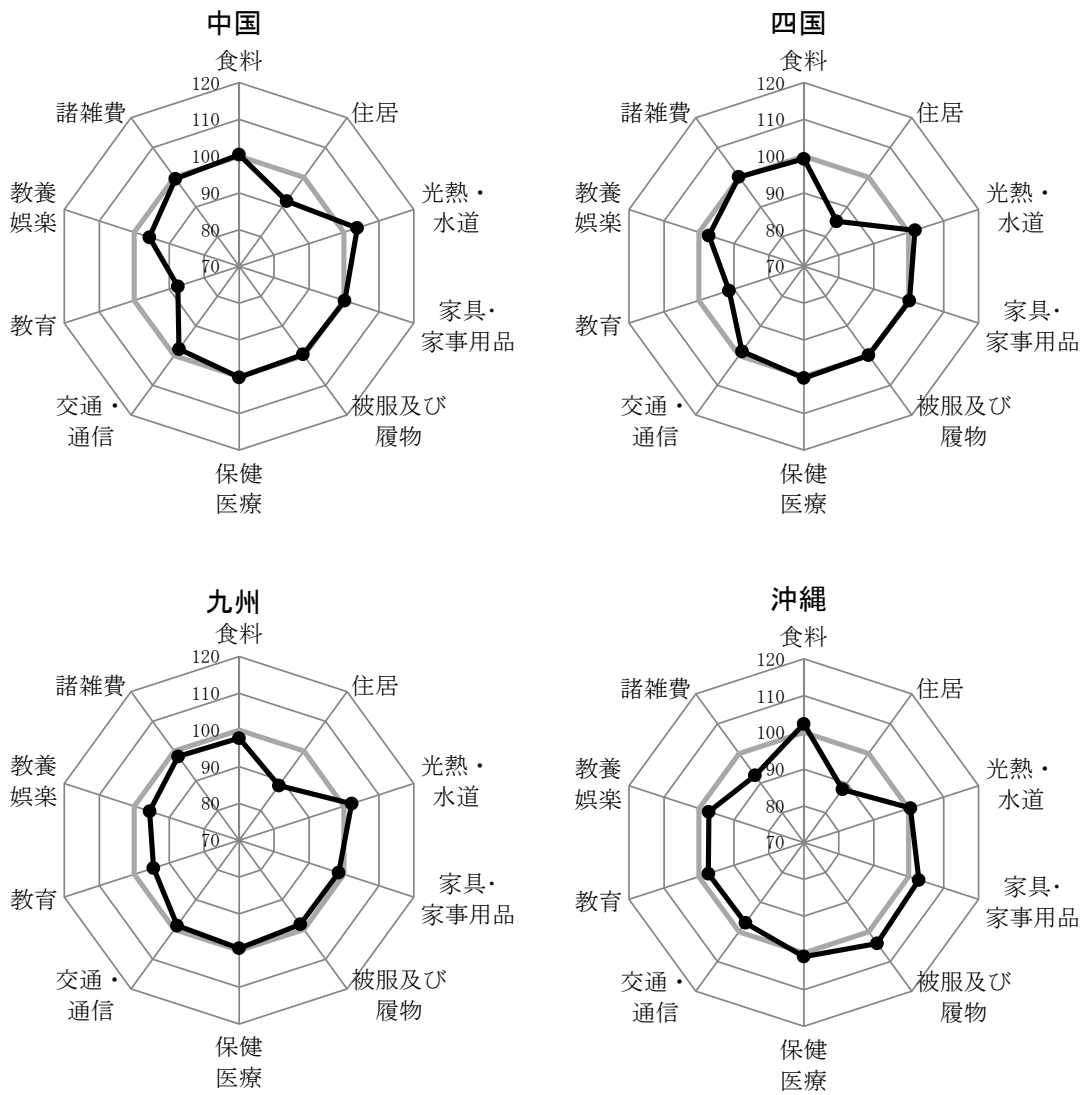
(注 2) 10 大費目別に最大値及び最小値の地方に網掛けをしている。濃い網掛け(■)は最大値, 薄い網掛け(□)は最小値を示す。

地方別にみると、北海道では、「家具・家事用品」及び「保健医療」が 10 地方の中で最も低い一方、「光熱・水道」は 10 地方の中で最も高い。東北では、「光熱・水道」が全国平均より高く、「保健医療」が全国平均と同値、残り全ての費目が全国平均より低くなっている。関東では、「光熱・水道」以外の全ての費目が全国平均より高く、「住居」、「教養娯楽」、「交通・通信」及び「諸雑費」が 10 地方の中で最も高い。北陸では、「諸雑費」及び「被服及び履物」が全国平均より高く、「家具・家事用品」及び「保健医療」が全国平均と同値、残り全ての費目が全国平均より低くなっており、特に「光熱・水道」は 10 地方の中で最も低い。東海では、「教養娯楽」及び「諸雑費」が全国平均より高いが、それ以外の全ての費目は全国平均より低い。近畿では、「教育」が 10 地方の中で最も高くなっている。中国では、「教育」が 10 地方の中で最も低くなっている。四国では、「住居」が 10 地方の中で最も低くなっている。

九州では、「光熱・水道」以外の全ての費目が全国平均より低く、「教養娯楽」、「食料」及び「被服及び履物」が 10 地方の中で最も低い。沖縄では、「諸雑費」及び「交通・通信」が 10 地方の中で最も低い一方、「被服及び履物」、「家具・家事用品」、「食料」及び「保健医療」は 10 地方の中で最も高い。

(表 1－6, 図 1－9)

図1-9 地方別にみた10大費目別指数（全国平均=100）（続き）



3 都市別の物価水準

◆ 物価水準が最も高いのは東京都区部、最も低いのは佐賀市

都市^(注1)別に「総合」をみると、東京都区部が106.1と最も高く、次いで川崎市(105.0)、横浜市(104.8)、さいたま市(103.0)となっている。

一方、最も低いのは佐賀市(96.7)で、次いで、宮崎市(96.8)、奈良市、北九州市(共に97.1)と続いている。

物価水準が最も高い東京都区部は、最も低い佐賀市に比べて9.7%^(注2)高くなっている。

(図1-10, 表1-7)

(注1) 都市とは都道府県庁所在市(東京都については東京都区部)及び政令指定都市(川崎市, 浜松市, 堺市及び北九州市)のことである。市の区域は, 平成21年8月3日現在の区域による。

(注2) $\frac{\text{高い指数} - \text{低い指数}}{\text{低い指数}} \times 100$

図1-10 都市別消費者物価地域差指数(総合)(全国平均=100)

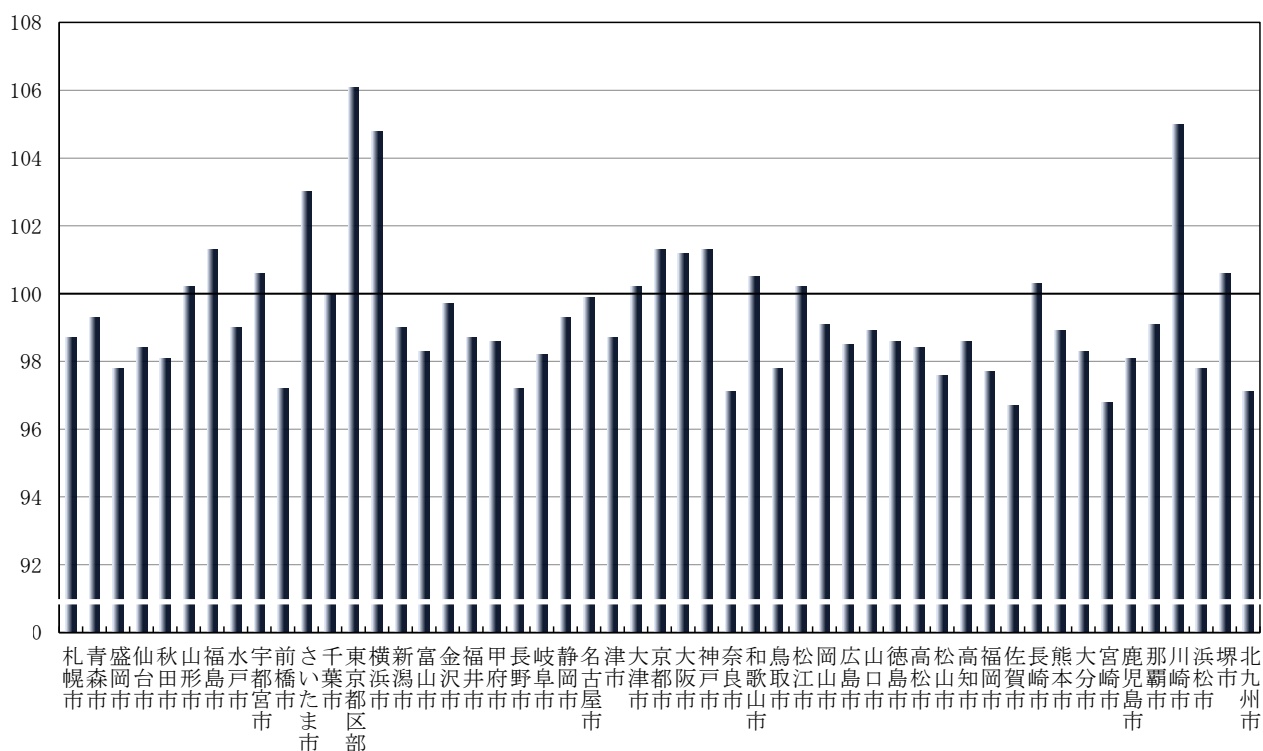


表 1-7 都市別指数（総合，食料及び家賃を除く総合）（全国平均＝100）

都市	総合	食料	(参考) 家賃を除く総合	地域	総合	食料	(参考) 家賃を除く総合		
都道府県庁所在市	札幌市	98.7	99.5	99.4	都道府県庁所在市	大阪市	101.2	100.6	100.7
	青森市	99.3	98.8	99.2		神戸市	101.3	102.4	101.3
	盛岡市	97.8	97.6	98.6		奈良市	97.1	94.7	97.5
	仙台市	98.4	97.4	98.7		和歌山市	100.5	102.7	100.6
	秋田市	98.1	96.2	98.3		鳥取市	97.8	100.4	98.5
	山形市	100.2	100.2	100.7		松江市	100.2	103.3	100.6
	福島市	101.3	102.7	101.5		岡山市	99.1	101.8	99.7
	水戸市	99.0	99.5	99.2		広島市	98.5	100.7	98.9
	宇都宮市	100.6	101.1	100.8		山口市	98.9	100.8	99.6
	前橋市	97.2	97.8	97.5		徳島市	98.6	102.3	100.0
	さいたま市	103.0	102.2	102.3		高松市	98.4	98.3	99.2
	千葉市	100.0	100.3	100.0		松山市	97.6	99.1	98.9
	東京都区部	106.1	103.9	103.6		高知市	98.6	101.6	99.6
	横浜市	104.8	103.5	103.5		福岡市	97.7	95.7	98.4
	新潟市	99.0	99.5	99.1		佐賀市	96.7	95.8	97.6
	富山市	98.3	100.6	99.1		長崎市	100.3	101.7	100.8
	金沢市	99.7	101.9	100.3		熊本市	98.9	101.2	99.7
	福井市	98.7	101.1	99.5		大分市	98.3	101.5	99.5
	甲府市	98.6	98.2	98.9		宮崎市	96.8	99.0	97.8
	長野市	97.2	94.0	97.6		鹿児島市	98.1	100.0	98.2
	岐阜市	98.2	99.1	99.3		那覇市	99.1	103.4	100.2
	静岡市	99.3	99.6	99.4					
	名古屋市	99.9	100.1	99.9		川崎市	105.0	101.7	102.7
	津市	98.7	98.9	99.0		浜松市	97.8	98.4	98.2
	大津市	100.2	98.8	100.5		堺市	100.6	101.7	100.7
	京都市	101.3	100.9	101.4		北九州市	97.1	98.3	97.9